

平成14年度 研修員

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
法	前期1名 後期1名の 2名以内		被選考者なし			
文	前期2名 後期1名 または、 前期1名 後期2名 の3名以内	教授	日下恒夫	H14.4.1 ~ H15.3.31	1 本学 2 自宅 3 他大学図書館等	1. 作家老舎に関する研究 年譜・書誌・評伝をまとめる仕事 2. 北京語と上海語の比較研究の基礎的な仕事 3. 中国語のための音声学をまとめる仕事 以上の他、資料の収集・整理など
		教授	田中俊也	H14.10.1 ~ H15.3.31	1 自宅 2 個人研究室 3 本学図書館 4 スタンフォード大学 カーネギーメロン大学 ピッツバーグ大学 5 パーゼル大学 6 Inje大学	現在、知識の獲得と運用に関する教師の持つ基本的なスタンスと、それがどのような教授活動と結びつくのかについて国際比較を行っているので、期間の前半は共同研究をしている外国の研究者を訪問し、これまでの研究の知見を拡げる。 その後、進行中の現在の研究のまとめと、これまでの研究のまとめを並行して進める。
経	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	安喜博彦	H14.4.1 ~ H14.9.30	1 本学 2 大阪市立大学経済 研究所	今日の産業組織の変容に対応し、産業研究における理論展開と実態分析は著しく多様化し、かつ、新しい論点が多出している。そのなかで、研修の機会を得て、企業のコンピタンス理論との関連でみた企業間関係および、ネットワーク効果のもとでの独占問題という2つのテーマにかかわって、諸論点の整理と実態分析を行いたい。
	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	松尾精彦	H14.10.1 ~ H15.3.31	1 本学 2 大阪大学大学院 基礎工学研究科 3 京都大学経済研究所 金融工学研究センター	ここ数年来取り組んできた、「いくつかの二項確率変数の等確率性検定」問題も、かなり効率の良い方法を考案することが出来て、ほぼ決着がついた。 そこで、以前より興味があった、金融工学についての研究を本格的に開始しようと考えている。そのためには金融工学の重要な道具である数理統計学を勉強しなおさなければならない。理論よりもむしろ実践に重きを置きたいと考えているが、それでも、多変量解析法・時系列分析法について、まとまった時間をとって、研究する必要性を痛感しているというのが、研修を希望する理由である。

平成14年度 研修員

学部	人数枠	資格	氏名	期間	主たる研究先	研究目的
商	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	羽原敬二	H14.4.1 ～ H14.9.30	1 神戸商船大学 2 宇宙開発事業団	航空・宇宙分野における運送事業のリスク管理について、これまでの研究成果を技術面から集大成するため。
		教授	伊藤健市	H14.10.1 ～ H15.3.31	1 大阪市立大学 2 名城大学 3 中央大学 4 駒澤大学	1986年から自分のライフワークとして研究対象としてきた全国市民連盟(National Civic Federation)と1990年頃より新たな対象として取り上げた特別協議委員会(Special Conference Committee)という、アメリカにおけるウェルフェア・キャピタリズムを体現する2つの組織の研究に一定の結着をつけるためである。両組織に関する資料の多くは集めているが、今少し足りないものがある。こういった資料の収集と読み込みを行いたいことも研修員を希望する大きな理由である。
社	前期1名 後期1名の 2名以内		被選考者なし			
総情	前期1名 後期1名の 2名以内	教授	小松陽一	H14.4.1 ～ H14.9.30	1 早稲田大学大学院 アジア太平洋研究所 2 図書館 3 自宅 4 個人研究室	<p>申請者は過去20年間にわたって、企業の事業進化について興味を持ちつづけ、これまでにいくつかの研究成果を発表してきた。ここで事業進化とは事業環境、事業戦略、事業インフラの間のスパイラルな相互進化と考えるが、この中で主として事業戦略に焦点を合わせた研究を行ってきた。</p> <p>事業戦略レベルで事業進化を研究する場合、事業創造、事業成長、事業衰退、事業再構成といったフェーズに分けて研究するのが生産的であろうと考えているが、申請者の事業進化研究はこの中で事業衰退、事業再構成に関わる企業再生(corporate turnaround)から着手した。その後、学内・学外での共同研究の過程で次第に事業創造、事業成長の研究へと研究範囲を広げてきた。</p> <p>この度、6ヶ月間の国内研修の機会にこれまでの事業進化研究を現時点でひとまず事業進化の総合分析モデルとして集大成しようと思い立ち、研修員を希望する次第である。</p>
工	前期2名 後期1名 または、 前期1名 後期2名の 3名以内		被選考者なし			